

翔子さん
泰子さん
「共に生きて」

社協だより

萩



「共に生きる」への想い

金澤翔子さんは、席上揮毫で「共に生きる」と書かれました。東日本大震災が発生したあの日。自分にできることは限られているけど、せめて心は被災された方に寄り添い、そして復興を願う気持ちを込めて、「共に生きる」を自身のテーマとされているようです。

社協では、地域で共に支えあい、助けあう活動を推進しています。それは、地域の方に寄り添い、地域課題を解決していくためのしくみづくりです。社協も同じように「共に生きる」をテーマとし、さらなる活動に取り組んでいきます。



Vol. 64

2016
1/1



新春対談

金澤泰子さん×佐伯政樹

昨年の第11回萩市社会福祉大会では、金澤翔子さんに席上揮毫、金澤泰子さんに「ダウン症の娘と共に生きて」と題してトークショーをしていただきました。そして、金澤翔子書道展も開催しました。そのご縁もあって、金澤泰子さんに新春インタビューをしましたので、ご紹介します。

佐伯 新年明けましておめでとうござ

います。

金澤 明けましておめでとうござ

います。

また来たい萩へ

佐伯 昨年は講演や翔子さんの揮毫



金澤

の回数は100回を超え、さらに海外を含む多くの場所で行った。金澤翔子展を開催され、そのハードなスケジュールに驚いています。昨年はどのような一年でしたか。

本当に忙しい一年でしたが、充実した、また飛躍した一年でした。

11月には萩市にもお邪魔しました。スケジュールの都合で萩で過ごす時間があまりありませんでしたので、またゆっくりと萩を観光したいと思います。

世界一幸せです

佐伯

去年の3月20日、『世界ダウン症の日』の前日、ニューヨーク国連で翔子さんがスピー

金澤

チされました。スピーチの中で「お母様大好き。愛してます」と話されています。その言葉を聞かれて、どのように思われましたか。

翔子が生まれた時に『世界一不幸な母』だと思っていました。今は『世界一幸せな母』ですね。

翔子は本当に親孝行です。一生懸命に努力し、国連本部にまで連れて行ってってくれるんですから。

佐伯

国連でスピーチする翔子さんとお母様泰子さんとの二人の愛で繋がれたやり取りが、とても印象的でした。

友達づくりに

佐伯

翔子さんは5歳から書道をはじめられましたか、そのきっかけは何ですか。

翔子が生まれる前から私は書に夢中でした。生まれてからは私のそばで書に親しんでいました。

金澤

5歳の時、翔子に友達をつくるきっかけで書道をはじめました。私は翔子に厳しくしていました。しかし、私が厳しくすればするほど、翔子は余計に私についてこようと泣き

ながら努力していました。そして最後に、「ありがとうございます」と頭を下げるんですね。翔子は私に喜んでもらいたくて頑張ってきたのだと思います。



10歳（小学4年生）の時に「普通学級は無理だから、身障者学級のある学校に転校してくれ」と言われ、途方なくれました。

あまりのやるせない思いから、朝から一日中、般若心経を書き続けました。翔子の作品で最も評判を呼び、人気の書が『涙の般若心経』です。叱られ泣きながら書いた、涙の跡があるのです。

書に魂を

佐伯 翔子さんが文字を書かれる時、どのようなイメージを描きながら書かれておられるのでしょうか。

金澤 例えば、大河ドラマの『平清盛』の題字を書いたときですが、翔子は、平清盛を知らないため、私が教えないといけません。はじめは力強く、元気に書くよう指導しました。

ある時、NHKの担当の方が平清盛のゆかりの地を見に行きませんかと誘ってくれました。そこで、平清盛が社殿を造営した厳島神社などゆかりの地を訪ねました。厳島で潮がヒタヒタと満ちてくる様子が眺めたり、六波羅蜜寺で清盛の像を見学したりしました。清盛の像は優しい顔をしていました。そんなところから平清盛のイメージをしっかりと持てたようです。題字は、翔子なりに、時代を駆け抜けた清盛の、さっそうとした姿をイメージして書いたのです。翔子さんの書は、本当に見る人に感動を与える書ですね。技術的な問題ではありません。テクニクでいえば、他

にすばらしい方はいらっしやいます。しかし、これは魂レベルの話なのです。皆さん、心が震えると言ってくれます。翔子はうまく書こうという思いはありません。ただ、私や皆さんに喜んでほしいという思いだけで書きます。名譽を気にすることなどなく、無心で書くから感動を呼ぶのかもしれないですね。

30歳の決意

佐伯 翔子さんは30歳になったら、ひとり暮らしを宣言されています。萩の場合、親が健在でひとり暮らしされた方はいらっしやいませんが、母親としてどうお考えなのでしょう。支援員はいらっしやるのでしょうか。

金澤 「30歳になったら一人暮らしをする」という翔子の夢をどうやってかなえるか、いろいろと悩みました。

翔子はお料理もお掃除もできません。お料理は腕もあがり、ハンバーグやカレー、なんでもできます。まわりが「美味しいね」と言うと、翔子はとっても喜びすんでやっつけられます。しかし、お金や時間

の観念がありません。だから決まった時間に起きたり寝たりすることもできない。でも、「それは無理よ」と言っても、まえば、長年の翔子の夢を壊してしまいます。

自宅の近くではありませんが、部屋を見つけ、ベッドやドレッサーなど少しずつ揃えていくところです。最近では、経済観念も芽生えてきて、さらに成長でき、一人暮らしをさせて良かったと思います。

能力を信じ、認める

佐伯 最後に、泰子さんから同じ障がいのある方、ご家族の方にメッセージをお願いします。

金澤 「障がいがあっても、すばらしい人になれる」ということです。

私は後悔しています。翔子が生まれた当初、祝福されるべき存在なのに、どうやって一緒に死のうかと、そんなことばかり考えていました。なぜそうだったのかというと、当時はダウン症に関する情報がなく、希望がありませんでした。今とは時代背景が違います。健常者と障がい者のどちらにも希望と絶望とがあるの

に、障がい者だと希望はないと思いきんでいました。

今では、全国津々浦々を縦横無尽に個展と席上揮毫をして回るようになりました。どこへ行っても多くの方々、特に障がい児をもつ家族の方が喜んでくださいます。私は知的障がい児をもつ方々に、少しでも希望の光になれたらと、どこへでも行くことにしています。私がたどって来た道だから、その辛さ苦しみがよくわかるから、障がい児を授かった母たちの悲しみを少しでも和らげたいと思うのです。苦難を生き延びた翔子が今はつらつと喜びの中で生きています。「生きてさえいれば、絶望はない」というのが私の実感で、そのメッセージを翔子が大勢の方々に伝えてくれます。

佐伯 泰子さんの講演、翔子さんの揮毫、書道展と本当に萩市民にとって感動深い社会福祉大会となりました。また、今日は貴重なお話しをお伺いできまして、ありがとうございます。

金澤 萩の皆さんは、本当によい方ばかりでした。ありがとうございました。

振りかえる48年



ダウン症の息子に思う 宮内タル子

私の息子は、48年前3300グラムでこの世に生まれてきました。私の母親が「この子、なんか似てないね」と。でも、そんな言葉も気にせず育ててきましたが、他の子とは成長が遅く、2歳を過ぎてもおんぶをして出かけていました。



3歳の頃、保健所へ相談し、その後、児童相談所へ。そして東京へ検査にも行き、5歳の頃ダウン症だと知りました。このたびの社会福祉大会で金澤泰子さんの講演を聴き、共感できるところや、親として反省すべき点など、いろいろなことを考えたり、息子が幼かった頃の思い出を出しました。

私には、将来を心配する私に「共にする家族がいるので大丈夫」と言っていて安心させてくれます。今では、将来を心配する私に「共にする家族がいるので大丈夫」と言っています。今では、将来を心配する私に「共にする家族がいるので大丈夫」と言っています。今では、将来を心配する私に「共にする家族がいるので大丈夫」と言っています。

私が金澤さんと違ったのは、この子と死のうとは思いませんでした。なぜなら、息子には2人の姉がいたので、娘たちを残して逝くことはできませんでした。でも、金澤さんと同じようにどれだ

けの涙を流したかわかりません。当時、ダウン症の子をもつ先輩お母さんがいらつしゃったことや、ふたば園や養護学校で同じように様々な障がいもち、悩む仲間がいたことで頑張りました。それに何よりも心強いのは、理解ある娘たちや親族がいたことです。娘たちが小さい頃、私が「この子はこの家を選んで生まれてきたので、家族が支えてやらないと、他の人は誰もかわいがってくれないよ」と、そんなことを言い聞かせていました。今では、将来を心配する私に「共にする家族がいるので大丈夫」と言っています。今では、将来を心配する私に「共にする家族がいるので大丈夫」と言っています。

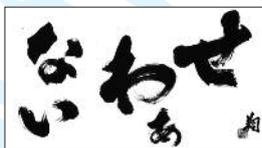
のおかげで私はたくさんの人に会えることができたこと、息子にも感謝しています。

ダウン症は「天使の子」と言われるように、本当に優しく、素直で、時に陽気で明るい子どもです。翔子さんのダンスを見たとき、うちの子も同じだなと感じ、とてもうれしく思いました。

48年前に比べ、今の福祉や理解はずいぶん進みました。本当に手探りで一歩ずつ進んで来たことを振りかえる講演会となりました。

金澤翔子書道展

— 翔子の志 —



萩市立萩図書館において、昨年の11月21日から29日まで女流書家の金澤翔子さんの書道展を開催しました。1530人の方に来場いただきました。昨年、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」が放映されていたこともあり、吉田松陰先生の「至誠」「志」、そしてドラマで印象に残る台詞「せわあない」の3つの書が添えられ、「翔子の志」というタイトルとなりました。

この書道展の開催にあたっては、たくさんの方の協賛金をいただきました。ご協賛いただきました皆様には紙面を借りてお礼を申し上げます。

宮内君の作品紹介



ボールペンで描かれた客船の絵です。毎日、描いているので、ボールペンがなくなってしまいます。



和船競漕の越ヶ浜チームは、宮内君が描いた魚の絵のTシャツを着て参加しました。

プラモデルづくりも大好き。



地域の福祉 あれこれ

むつみ

こんなに笑ったのも久しぶり

11/25

萩

春になったら、またサロンに行くね

むつみコミュニティセンターで、ひとり暮らし高齢者・民生委員・福祉員・ボランティアさんのつどいが開催されました。すき焼きジャンケンゲームでは、8人で家族になり、ジャンケンに勝ったり負けたり、具材がとれても野菜ばかりで、肉のないすき焼きになったり…それでも楽しく、ジャンケンをするたびにわくわくしました。久しぶりに出会った人とも話が弾み、「こんなに笑ったのも久しぶり」と楽しい一日を過ごしました。



旭

よもやま話に花が咲き、一局

「おしゃべりするから出ておいで」の誘いには見向きもしてくれない男性。でも、この日は違います。毎月第3火曜日の囲碁・将棋の日。

「よー、どねえかの」のあいさつを交わり、盤に向かいます。

一次の一手を「うーん」と考えこみ難しい顔に、納得のいく作戦に朗らかな顔、一勝を勝ち得た時の何ともいえないうれしさ。お茶をのみながら、よもやま話に花が咲き、また一局。

いつもと違う神経を使いながらも、気分はスッキリの一日です。

日時 毎月第3火曜日13時30分
場所 社協旭事務所



田万川

小川に住んでで良かった

地域の中で高齢者や障がい者、閉じこもりがちな方などが、気軽に集い楽しみ元氣になれる場を提供しようと、『みのりの広場』を小川ささえ隊が中心となって始めました。

すでに4回実施し、参加者の笑顔は広がり、次月を楽しみにされるようになりました。小川ささえ隊と一緒に広場を盛り上げていただける協力者を広げ、「小川に住んで良かった」と思えるように、息の長い活動を行いたいと考えています。



本間地区のサロンは、3つの公会堂を持ち回りで開催しています。冬は雪や寒さに悩まされることも多いため、サロン活動は中止し、代わりにお世話人で個人宅を訪問することになっています。訪問時には靴下やホットカイロなどを詰め合わせた「あったかグッズ」の袋を持参し、体調に変わりにいかなど、声かけをしています。「温かそうでいいね」「春になったら、またサロンに行くね」と言っていただけなのがとてもうれしいです。



善意銀行

ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成27年9月1日～11月30日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
阿武 俊和	大井市場	母/澄子	金一封
大草 実	山口市大内矢田北	母/フミヨ	金一封
小枝 孝己	三見浦2	父/卯一	金一封
佐伯 泰司	上野の1	父/安清	100,000円
鈴木 明生	三見浦3	伯母/英	金一封
蜂屋 曄	平安古西区の2	母/美智子	金一封
中野 明子	椎原の1	夫/紀昭	金一封
井町 実利	大屋の1	父/栄治	金一封
金子 直巳	大井円光寺	父/輝男	金一封
大谷 精治	堀内2区の3	父/和雄	金一封
松浦 孝二	中ノ倉の3	父/立石傳次郎	金一封
波多野 静子	無田ヶ原の3	夫/勘治	金一封
宮木 久司	三見床並	弟/宗史	金一封
中原 滝雄	無田ヶ原の1	母/タミヨ	金一封
井町 貴一	越ヶ浜4区の2	父/登	金一封
末富 明美	河添の2	夫/信夫	金一封
城村 宣治	玉江浦1区の2	父/徳行	金一封
山谷 定義	見島3区	母/君子	金一封
山本 敏一	見島12区	父/健一	金一封
竹下 英紀	大島赤穂瀬前	父/土一	金一封
池部 好伸	浜崎1区の2	母/ヨシ子	金一封
田中 親明	中津江の1	父/次郎吉	金一封
金谷 梁作	川島1区の2	妻/明枝	200,000円
岡本 重市	三見吉広	母/静子	金一封
谷村 一彦	玉江浦2区の3	父/勇	金一封
西村 猛男	上野の1	妻/里美	金一封
三浦 浩	浜崎2区の2	母/千恵子	金一封
田村 文子	沖原	夫/卓也	金一封
赤崎 敬造	今魚店町	父/國正	金一封
山谷 克枝	堀内1区の1	夫/光義	金一封
守永 秀昭	土原2区の1	父/勇	金一封
溝部 一吉	倉江の2	妻/マツ子	金一封
森野ひとみ	上野の2	母/静香	金一封
中村 幸一	中津江の1	母/美恵子	金一封
伊藤 悟	新川西の2	父/義昭	金一封
西村 悦夫	青海	父/経雄	金一封
伊勢嶋早苗	東田町東区の2	夫/正夫	金一封
境 芳治	倉江の2	母/アヤ子	金一封
大谷 和代	三見浦4	祖母/キヌエ	金一封
大山 繁	新川西の1	母/幸子	金一封
中原 俊美	中津江の1	母/ウタ子	金一封
石丸 敏之	大屋の2	父/敏治	100,000円

氏名	住所	備考	金額
木村 浩	土原1区の3	妻/珠美	50,000円
重谷 昌矢	三見手水川	母/次代	金一封
岡村 敬助	堀内1区の3	母/深雪	金一封
阿武 正人	中津江の1	妻/みゆき	金一封
水津 真幸	大井港中	父/松弼	50,000円
吉屋 義夫	大井庄屋	妻/セツ子	金一封
森田 進	上野の1	母/二三子	100,000円
白神 好江	樽屋町	夫/好彦	金一封
長岡 重典	大島登	母/富子	金一封
井本 和彦	大島赤穂瀬前	父/啓二	金一封
福田 満	無田ヶ原口の1	母/トキ子	金一封
三歩一輝夫	目代	母/梅子	金一封
飯田多美恵	三見浦5	母/伊都子	金一封
中原 和人	無田ヶ原の1	母/萩恵	金一封

川 上

大田 和昭	遠谷	妻/ミヤコ	金一封
山根 俊郎	川上山田	妻/安子	金一封

田 万 川

椋 淳子	小川5区	夫/詔一	金一封
石橋 健一	小川18区	父/時雄	金一封
須子イワ子	要二	夫/信一	金一封
浴中 庄市	土居	妻/登美子	金一封

む つ み

増原 建夫	殿川	母/能生子	金一封
山本 和子	山口市	母/岡佳子	金一封
松中 光雄	金谷	父/豊	金一封
大伴 孝二	広瀬上	母/恭枝	金一封
山本ヒロ子	野田	母/艶子	金一封
中野 進	羽月	妻/綽子	100,000円
内田美歌子	麻生	夫/善治	金一封
須山 則美	上市	妻/政子	金一封

須 佐

中村 晋	堀田	母/笑子	金一封
吉岡 満	前地	祖母/静子	金一封
岩本 宏憲	本町上	父/正一	金一封
林 俊輔	山根丁東	妻/君枝	金一封
伊藤 嗣子	中津	夫/安男	金一封
一木 弘幸	水海	父/榮治	金一封

旭

中村 泉	成川	父/道吾	金一封
井上 一男	長小野	妻/菫子	50,000円
深澤 節子	パークタウン	父/藤田滝雄	金一封
大津 博人	佐々並市	父/美則	金一封

上田 敬二	笛吹	父/康弘	100,000円
田中 克典	下横瀬	父/實	金一封
土山 浩一	佐々並市	父/幾久	金一封
弘中 保	久年	母/アサ子	金一封
福 栄			
岩武 明司	紫福平原	父/良丞	金一封

金子 良一	中山	父/孝俊	金一封
波多野弘樹	横貝	父/弘美	金一封
田邊 義宏	押原	母/キミコ	金一封
阿武 敏夫	入屋	母/久子	金一封
山根 忠彦	畑	母/ヨシ	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
匿名		社会福祉へ	100,000円
匿名		社会福祉へ	1,328円
山口銀行萩支店行員一同	東田町東区の2	社会福祉へ	200,000円
川 上			
金子 節子	柚木谷	見舞返し	金一封
田 万 川			
匿名		社会福祉へ	30,000円

氏名	住所	備考	金額
む つ み			
片俣八幡宮	片俣	社会福祉へ	金一封
フレンズむつみ	吉部	社会福祉へ	金一封
旭			
竹下 政数	パークタウン	社会福祉へ	金一封
福 栄			
服部 正子	紫福長尾	社会福祉へ	10,000円
(香典返し・一般寄付合計 105件 4,050,530円)			

物品寄付

氏名	住所	物品名
萩		
だるまや薬局	東田町東区の2	オムツ類他
旭		
山根 一	舞谷	もち米30kg

氏名	住所	物品名
杉山 次朗	長小野	もち米30kg
中村ミチノ	成川	おむつ
藤井 美明	長小野	毛布

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

前号6ページに、次のとおり誤りがありましたので、お詫び申し上げ、訂正いたします。

(正) 寄付者 竹内 正勝様 下市 (誤) 上市

お知らせ

萩社協職員募集

大島保育園及び萩市見島保育園の職員を募集します。

- 職 種 保育士
- 募集人員 大島保育園 2名、萩市見島保育園 1名
- 受験資格 昭和50年4月2日以降に生まれた方(満40歳以下)で、保育士資格を取得した方または平成28年3月に保育士資格を取得見込みの方(採用後、大島、見島に居住できる方)
- 募集期間 平成28年1月4日(月)～平成28年2月3日(水)
- 試験日時 平成28年2月14日(日)10時
- 試験内容 作文・面接
- 採用予定日 平成28年4月1日
- 申込方法 次の提出書類を郵送または持参
- 提出書類 ①市販の履歴書(写真添付)
②最終学校卒業(見込)証明書
③保育士証の写し
※郵送 当日消印有効
※持参 平日の9時～17時30分
- 問 合 せ 〒758-0041 萩市江向356-3
萩市社会福祉協議会総務課
電話0838-22-2289

第6回高齢者虐待防止研修会

高齢者虐待に関して理解を深め、高齢者や介護者を見守り、支え合う地域のあり方について一緒に考えます。

- 日 時 1月31日(日) 13時30分～
- 会 場 サンライフ萩
- 内 容 明るく楽しい介護川柳表彰
「高齢者虐待の防止～共に幸せであるために～」
山田 妙子 さん
(NPO法人生き生きネットみすみ)

歯あわせ健口の集い

歯科医師の講演、歯科衛生士による歯ブラシや舌ブラシの使い方などを教わります。

- 日 時 2月13日(出) 13時30分～
- 会 場 サンライフ萩
- 内 容 歯あわせ健口遅口言葉表彰、基調講演ほか

編集室

新春対談、振りかえる48年では、改めて子育てについて考えさせられました。家族の絆や温もりを感じられるお正月になりますように。

しあわせ写真コンテスト 入賞おめでとう!

今年も多彩な作品が集まり、多くの人が写真を通してしあわせな時間を共有しているの
を実感することができました。応募総数が若干少ない気がしましたが、女性の応募も多く、
写真がより身近になってきていることがよくわかります。14才の少年が、おいしいちゃんにもらっ
たカメラで妹を撮った写真などは、すばらしいシャッターチャンスで、若い人の才能も目
立っていました。

写真家 下瀬 信雄



金賞「あ〜! うまい!!」 阿武 静恵



「じいじ、ぼくにまかせて。」



「4年目の奇跡」



「文にゃん! 会いたかった!」



「和船協漕」



「長生きの秘訣」



「仲良き両親」



「おーっい!」



「あ〜んして」



ジュニア部門金賞

「あとはまかせて!」

矢田部 陸翔

応募: 24名37作品
最年少: 14歳
最年長: 89歳
入賞: 10作品